

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

稲穂ファミリースポーツクラブの取組

1 同じ東北人として、何かできることを

稲穂ファミリースポーツクラブでは、東日本大震災で家を流され、長期の避難所生活をしている人たちに、同じ東北人としてクラブ会員みんなで何か支援できることはないかと考え、以下の支援活動を行いました。



[第1回支援活動 平成23年5月14日(土)]

●石巻市立飯野川第一小学校避難所への炊き出し支援

避難所生活をしている方たちが、避難所生活が始まって1ヶ月間、温かいものを一回も食べていないという情報を聞き、片道4時間かけて総勢27名で避難所へ訪問し、洋食300食(焼きたての庄内豚ステーキ・とん汁・サラダ・オレンジ)の炊き出しをしました。



[第2回支援活動 平成23年6月18日(土)]

●石巻市勤労者余暇活用センター避難所及び周辺住民への炊き出し支援

稲穂市との総勢27名で、洋食300食(ビーフシチュー・鯛のグリル・蕎麦と麦きりの合盛・サクランボ)の炊き出しをしました。

[第3回支援活動 平成23年9月17日(土)]

●石巻市立湊小学校避難所への炊き出し支援

総勢24名で、洋食400食(焼きたての庄内豚ステーキ・蕎麦と麦きりの合盛・サラダ)の炊き出しをしました。

[第4回支援活動 平成24年8月26日(日)]

●宮城県南三陸町歌津地区平成の森公園仮設住宅団地主催の夏まつりイベントの盛り上げ支援 (ストレス解消とリフレッシュ)

総勢26名で、大きく4つの支援活動をしました。①グラウンド・ゴルフ交流大会、②出店による食べ物の提供(洋食300食:焼きたての庄内豚ステーキ・ビーフシチュー)、③シャンソン歌手による歌の提供、④子ども遊びコーナーの設置。

2 変化する求められる支援 ～炊き出しから交流へ～

第1～3回目は避難所への炊き出しが支援内容でしたが、地震から7ヶ月後の平成23年10月には避難所が閉鎖される地域も出て、被災した方々は仮設住宅に移りました。仮設住宅での生活は、プライバシーに配慮されているものの、狭さや周囲の音、精神的な不安など様々な課題から新たなストレスが生じていることを聞きました。クラブで何を支援できるのか、仮設住宅の下見をしながら悩みました。その結果、仮設住居者がストレス解消できる支援活動をと考えて、第4回目からは、体を動かしたり交流ができる支援活動を行いました。東日本大震災から2年経過した現在では、仮設住宅で生活されている方のストレス解消が今後の支援活動に求められる要素だと感じています。



3 継続した交流・支援に向けて

平成25年度は8月31日(土)、第4回目の支援活動と同様に、宮城県南三陸町歌津地区平成の森公園仮設住宅団地が主催する夏まつりイベントの開催支援(ストレス解消とリフレッシュ)を行います。今年のグラウンド・ゴルフ交流大会は野球場貸切で行うことになったので、さらなる交流ができることを期待しています。

また、南三陸町のサッカースポーツ少年団を夏休みにマイクロバスで迎えに行き、山形県鶴岡市に招いて、本クラブ内の稲穂サッカースポーツ少年団と8月2日(金)～4日(日)に合同夏合宿を計画しています。

(稲穂ファミリースポーツクラブ クラブ・コーディネーター 村田 久忠)

クラブプロフィール

設立年月日：平成18年1月29日

地 域：山形県鶴岡市

運 営：会員数 家族会員146家族(平成25年3月現在) ※会員設定は家族会員のみ
予算規模225万円(平成24年度)

特 徴：スポーツ少年団の育成母集団から総合型クラブに発展。

連 絡 先：〒372-0812 山形県鶴岡市宝町4-73

TEL・FAX：0235-24-8758